

ワーク会議をはじめ関係機関と緊密な連携を図り、国道6号等において立哨活動を毎月実施し、交通事故防止を呼びかけます。

学校から2キロメートル圏内において小中学生の徒歩通学が実施されていることから、交通安全専門員による児童・生徒の交通安全街頭指導を行います。

自転車乗車時のヘルメット着用を推進し、交通事故による被害軽減を図るため、ヘルメット購入経費の一部を支援していきます。

高齢者が当事者となる交通事故の減少を図るため、高齢者運転免許証自主返納支援事業を実施するとともに、高齢運転者によるアクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いによる事故を防止するため、自動車急発進防止装置の設置経費の一部を支援していきます。

防犯対策

防犯対策につきましては、地域住民が安心して生活できるように、双葉警察署、警戒パトロール隊、防犯指導隊等関係団体と連携を図り犯罪の防止に取り組みます。犯罪に対する抑止力の向上を推進する



広野町警戒パトロール隊出動式

ため、住宅用防犯カメラやセンサーライト等の設置経費の一部を支援していきます。

高齢者がいる世帯を対象に振り込め詐欺等の特殊詐欺、悪質な電話勧誘などの被害を未然に防ぐため、特殊詐欺防止機能がついた電話機の購入経費の一部を支援していきます。

防災・防火対策

防災・防火対策につきましては、東日本大震災の教訓を活かし、地震・津波災害から住民の生命を守るため、関係機関と連携のもと、町内全域を対象とした地震・津波避難訓練を実施し、防災体制の連携強化と住民の防災意識の高揚に取り組みます。災害発生時において、住民



広野町津波防災訓練

を迅速かつ確実に避難させるため、防災行政無線や緊急速報メール、役場屋上LED防災情報システムを活用し情報を的確に伝えます。消防団活動の環境整備を図り、消防団、婦人消防隊と連携し予防消防に取り組み、高齢者世帯においては関係機関と連携しながら火災予防啓発活動を実施します。

町内インフラ施設の維持管理及び整備

町内インフラ施設の維持管理及び整備につきましては、道路、橋梁、トンネル、下水道施設の点検を実施し、道路や下水道施設の計画的な補修による施設の長寿命化を図り、安全確保に取り組みます。

道路整備

道路整備につきましては、危険箇所、未改良区間の解消を計画的に実施し、町民の生活環境の向上を図り、安心安全な道路網を形成し、有事の際の緊急車両の通行及び通勤通学時の安全確保に取り組みしていきます。

「つよを生かす」つよの事業

農業

農業につきましては、営農再開12年目となります令和6年度に営農を行う農家に対しては、国の経営所得安定対策を活用していただき、農業経営の安定を図ります。本町のような中山間地域では、高齢化が進む中、農業生産条件が不利な面があることから、担い手の育成等による農業生産の維持を通じて、耕作放棄地の発生を防ぎ、水源涵養、洪水防止、土砂崩壊防止等の多面的機能を継続的、効果的に発揮するため、多面的機能支払事業及び中山間地域等直接支払交付金事業を活用し、農用地等の地域資源の安全管理に必要な支援を行うとともに

ている広野駅東側第一期開発地区の産業団地並びに第二期開発地区の住宅団地、広野駅周辺の整備を着実に進めていきます。

住宅団地整備事業については、事業者による造成工事が完了し販売を開始しています。若者・子育て世代の定住、県外都市部等からの移住に重点を置き、土地購入の負担軽減となる補助制度の実施、子育て・教育環境の充実、就労環境や企業マッチングに力を入れ、移住後の安定的な生活を支援していきます。

広野駅周辺整備事業については、「広野駅周辺整備の基本事項に関する協定」に基づきJR東日本水戸支社と協議を進め、未来のかけ橋と広野



ふるさと納税返礼品出発式

関係機関と連携を図り、町内7地区のほ場整備事業を継続して取り組みます。農業における高齢化、後継者不足、耕作放棄地等の増加などの人と農地の問題解決を図り、地域農業を守り次世代に引き継いでいくことを念頭として、担い手農家へ効率的な農地の集積・集約を図るため実質化が図られた「人・農地プラン」から法制化された「地域計画」への移行と農地中間管理事業の活用を推進し継続的に取り組まます。本町の農業における担い手不足を解消し農業の持続的かつ安定的な発展を図り、農業者の確保、育成を目的として広野町農業次世代人材育成奨学金の活用推進及び新規就農者等に対する経営安



いわき短期大学附属幼稚園との交流

定化支援、スマート農業導入支援に取り組みます。

広野子ども園事業

広野子ども園事業につきましては、令和2年度に連携協定を締結したいわき短期大学附属幼稚園とは、園児や職員との交流などを通して双方の取り組みや課題を共有し、幼児教育の質の向上、人材育成に取り組みます。

『未来をつくる町』についての事業

ふくしま森林再生事業

ふくしま森林再生事業につきましては、間伐などの森林整備より森林の有する多面的機能の維持と表土の流出に伴

復興関連事業

復興関連事業につきましては、東日本大震災及び原子力事故から13年が経過し、第二期復興創生期間から、更にその先に歩みを進めるにあたり、広野町復興計画に掲げる基本理念・目的を達成し、復興事業のシンボルに位置付け



広野駅東ニュータウン

に、福島県営農再開支援事業を活用し、イノシン等鳥獣被害対策に取り組みます。

土地利用型農業の収益向上を図るため、基幹作物である主食用米の特別栽培米や有機栽培米を促進し、付加価値の高い米の生産に取り組むとともに、生産農家の収益向上と生きがいづくりを図るため、大豆、麦、野菜など町振興作物の生産に対する支援に取り組まます。

ふるさと納税制度を活用し、寄附をしていただいた納税者の皆様に、広野産特別栽培米コシヒカリや広野産米で造った日本酒、広野産無農薬バナナ「綺麗」などを返礼品として送付することにより、本町の基幹産業である農業の魅力や地域ブランドの情報発信を行い、特産品の販売促進や消費拡大を図り、地域経済の活性化に繋がります。また、町農産物の価値を伝え、販売・消費の拡大を図るため、秋には収穫祭を開催するとともに、町外で開催される様々な物産展等のイベントに積極的に参加します。

担い手農家の経営規模拡大、効率的かつ安定的な農業経営が行なえるよう、国、県、

駅構内こ線橋へのエレベーターの設置、スロープやホームの嵩上げなどバリアフリー化が進みました。今後、駅利用者の利便性を高めるため駅舎の改修、西口広場のロータリー化を行い、町のランドマークとして利用者が安心・安全に利用できる環境、地域住民の交流の場を構築していきます。

福島イノベーション・コースト構想の推進

福島イノベーション・コースト構想の推進につきましては、福島イノベーション・コースト構想に掲げる多様な産業を集積し、福島第一原子力発電所の事故により失われた地域の生業を再生させるため、「研究開発」、「産業化」、「人材育成」、「司令塔」の4つの機能を有する福島国際研究教育機構(FIREI)が浪江町に設置されました。地域の現状や課題を整理し、技術の実用化及び具体化を念頭として、研究者や専門家をはじめ知見を有する人材の配置、支援を行い、完成した東町産業団地、駅東産業団地と共に企業誘致を積極的に進め、地元企業とベンチャー企業・ス